

## 《一人で悩まない、いつでも相談できる居場所づくり》

若者の中には、家族の問題や地域のつながりの希薄化の中で、孤立し、支援を得られず苦しんでいる人たちがいます。そんな若者のひとりが、自治研で自ら発信する場として今年の3月から『クロ茶会』を立ち上げました。この活動は、一番にクロさん（本人希望のニックネーム）の気持ちを大切に、ゆっくり、のんびりと進めています。

### 「クロ茶会」でのひとコマ



2014年6月末の会の様子

- ・クロさん（アルバイト）
- ・佐藤 千恵子（八王子自治研究センター）
- ・佐藤 草平  
（協力者：東京自治研究センター研究員）

\*クロさんがいろいろな人とつながることを手始めに活動中。

### ～クロさんのひとり言～

有休がほしい。有休によって従業員の日々働くことによる疲労の蓄積の緩和に大きく影響がでると思います。

肉体的疲労もそうだけど、従業員に大きく出るのは精神的な疲労が大きいものだ。

精神的疲労が溜まるほどみんなも自分自身も愚痴数も増えてくるし、その疲労が溜まりに溜まると無気力的になるなどして、本来出来るはずの仕事の裁量にも下方の影響が出てくる。

どんなに仕事が好きでも身体が動かなくなってしまっただけのことでもできない。

…ほしいよね、有休。心身共に安心できる毎日をおくりたい。

（自筆）